第三種郵便物認可　　新聞定価　一部賣3円(月極6円)　　宮城日日　　昭和27年(1952年)5月3日(日曜金)　　【第524号】

鮫川土地改良區理事選擧

小名浜 小野義一氏

各區ともに大物出馬

去る四月十五日鮫川土地改良區總代の顔振れが決定、愈々この理事選擧が明十日行われるが六區よりの出場を予想される顔振れを見るに

◎第一區の植田町（定員十五名）は古川傳一氏が確定的であり氏は常磐炭礦の方面に対して偉大なる力を持つており、その上中央の監督官廳（建設省）にも相當の顔がきゝ永年に亘つての功勞者として衆知のとおりであり理事として最適任者とみられている

◎第二區の上遠野村（〃三名）は現村長荒川久馬氏が擧げられているが、地元の票數は三票に過ぎず何處から票數をあつめるかが注目されている

◎第三區渡邊村（〃十四名）は高木信定村長を全村あげて支持しており當選は確実

◎第四區泉村（〃十八名）は三瓶幸三郎村長と鈴木孝章氏が噂に上つているが鈴木氏は村会議員であり鮫川堰理事として永年盡瘁された功勞者でありその手腕も試驗済みで支持者が多く勝算の度が濃厚とみられる

◎第六區磐崎村（十三名）は縣会議員大平正次氏の出馬は確定でまた當選も確実である

さて第五區の小名浜町（〃三十七名）は小野義一氏が擧げられているが、飯塚藤右エ門、小浜長太郎、村上重一、箱崎滝三郎、駒木根忠三氏らが候補にあがつており同區は定員三十七名を擁している關係上兩事一名と監事一名は選出町會あり理事としては町側より小野義一、飯塚藤右エ門の兩氏に確定しており、藏王川地區は村上重一氏の呼び聲が相當に強いが反面また反對の空氣もあるが結局は同氏が當選するのではないかと見られている

工業都市建設を斯是とする小名浜町に於ては電力と水の確保が先決問題でありその爲にも今回の鮫川土地改良区の理事選出については他區の理事顔振れを見るときこれに対抗し得る政治力のある大物を選出しなければならない、幸に日平線十五万ボルトの建設も目下工事中であり次は水の確保が重要視されている点より見て今回の理事に選出される人々には重大な責任があると思われる、とれについて小野義一氏は次のように語つた

現在の鮫川疏水は一本であるが隣接小名浜町の工業都市建設・港灣施設の面よりみてこれに依存することは出來ないことは明らかであり他に工業用水として一本の路線を建設することが小名浜町の將來に對して最もよい施策と思われる、然しこの工業用水を造るには約一億二千万を要するものである関係上この問題に重点をおいて縣並に國に対して相當發言力のある人を選ぶことが肝要である

大平氏「早春」を出品

第九回日本美術協會展

日本美術協會（東京都港区芝新橋七ノ二）主催の第五回全國展覽会は六日より十一日まで日本橋三越本店に開催しているが、中央画壇の諸大家が多数出品しており、泉村出身の大平華泉醫伯（現住所＝東京世田谷区松原町）も推薦を受けて「早春」と題した傑作を出品している、今協会總裁高松宮は六日臨場親しく台覽あらせられた

今回の出品作品は逸品揃いであり觀る人をして感歎せしめ連日觀衆が多数來場して盛況している

小名濱一小の母の日

小名浜第一小学校では「母の日」を繰上げて九日（日曜）に母の日の行事を一般に理解させ母の人格を重んじ母への感謝の念を高めるべく次のような行事をすることになつた

イ、音樂、劇、紙芝居、遊戯など

ロ、詩、作文等の朗讀（母親に関したもの）

ハ、其の他

泉農業委員會

提出議案大半は承認

泉農業委員會では六日午後一時より役場會議室に於て定例会を開催、次の議案を審議決定した

一、農地調整法施行令第二條第一項の規定に依る許可申請書

譲渡人　來島　捨夫
譲受人　室屋金次郎

一、土地の所在地大字玉露宇前原二（畑二〇歩）

譲渡人　小林　滅次
譲受人　佐藤　鹿一

一、土地の所在地大字泉宇島替内二二（田三一歩）保留

譲渡人　小關　寅治
譲受人　佐藤秀太郎

一、土地の所在地大字龍尻宇神力前六〇ノ一（畑一、〇〇〇歩）保留

土地測量申請

申請人　多田　政巳

一、土地の所在地大字滝尻宇定ノ田二三七（田九二五歩）

現地調査の上決定する

以上保留

嘆願書

願人　小林　悟郎

一、土地の買收に對する異議申立の件

之れは延期

農地賣渡計畫承認の一部取消申請

小名浜町農業委員会長　松本　慧

一、土地の所在大字本谷字入二五（田一二二五歩）

延期

願人　野口　サク

九條の三項

申請人　小泉　トモ
相手人　阿部　因良

一、土地の所在大字本谷字堀ノ内六（畑三〇六歩）

申請人　小泉　トモ
相手人　阿部　又十

一、土地の所在大字本谷字八合一二四（田六二二歩）

以上保留と決定

譲受人　上遠野武雄
譲渡人　上遠野英夫

一、土地の所在大字龍尻宇定ノ田五〇（田六二〇歩）

同宇坂下一一ノ一、一一ノ二、一一ノ三、以上承認、合計一四歩、一二ノ畑五一三歩

使用目的變更届

届出人　石井　コト

一、土地の所在大字泉一七五ノ六（畑一〇四歩ノ内二二歩）

以上承認

五月十日はバード・デー

明五月十日はバード・デー（愛鳥日）です、また十日から一週間をバード・ウイークとして日本鳥類保護連盟では全國的に愛鳥運動を展開致します

春の渡り鳥は四月に入つてから最も盛んに行われるもので、一般に渡り鳥というと主に秋の渡り鳥の方をさし春の渡り鳥はあまり人の注意を引かないようです、というのが秋晴れの天高く訪れてくる鳥は鷹、鴨などでおびただしい大群をなして來るので人の眼を惹き易いのであるが、春季渡來する鳥は比較的バラバラにやつて來るところから人の眼につくことが少いのです

春の渡り鳥の代表的なものは南洋ファイリッピン方面から飛來する燕でこれは誰でもよく知つておりますが、然杜ホトトギス類ヒタキ、ムシクイ、鷺類の一部、佛法僧など春の渡り鳥も中々多いものです

中でも燕の渡來は割合に早く北と南とではその時期に多少の遅速はあるが三月末つ頃にはすでに姿を見せます

燕は雀と並んで野鳥の中で最も數が多く分布も廣く鳥としては榮華の夢を貪つている一族でありますす、その分布は殆んど全世界に及んでおり適應性が強く、その證據には燕も雀も他の鳥と違つて人家に巣をくい人間と共同生活を營んでおります

長い戰爭のため國土は荒廃し、またむやみに野鳥を捕つたりしたので日本の野鳥は大變な減り方でこのため自然のバランスが破れ桜食虫のような害虫の大發生を見、見事な老松が次々に枯れて行くような悲慘を生みましたこれは觀光日本のためにも惜しんで余りあることです、とのまま放つておけば幾年も經たないうち春になつてものどかなウグイスやメジロなどのさえずり（自然の音樂…）を聞くことも出來なくなるでしょう

二十年ほど前までは東京でも夕方の空に鳴きながら飛ぶガンを見ることも出來ました

また鎌倉あたりでも夏にはホトトギスの聲を樂しむことも出來ました、いまの子供の中にガンやホトトギスを見たりその聲を聞いたりしたことのある人が幾人あるでしょう

野山の鳥は堤の櫻のようにみんなで樂しむものでなく、これらの天然物は子孫に傳えるべきものなのです

日本鳥類保護連盟でも野鳥保護に努力しておりますす、一般の方々も空氣銃やカスミ網から可れんな小鳥を護り、花と共に咲き誇り小鳥と共に歌いそして……小鳥の聲に滿ちた緑の平和な國を築いて下されんことを

築圖に當盤本社

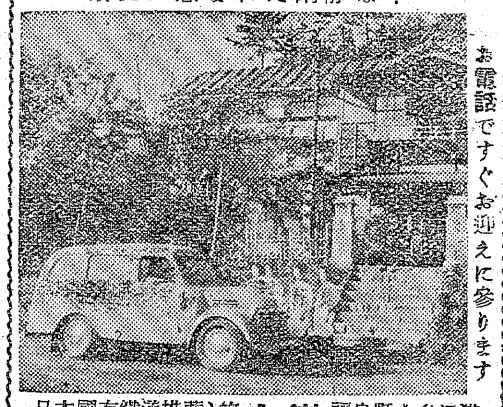
二億六千万で既に着工

常磐炭礦では銀座二丁目米井ビルに借家住いしていた東京本社を新築する事に決定とのほど着工した、同社は東京都築地三原橋角に總建坪千二百坪地上七階、地下二階の鐵筋コンクリートで總工費は二億六千万円である、完成は今秋の予定であるが完成のあかつきには常磐ビルとして三原橋頭に偉容を現出する

印刷ハ……
長瀬

春祭り特價大賣出し
本場琉球表　備後表
上敷ござ敷きうすべり
……其の他附屬品一式……
最低價格品特賣中です
小名浜町古港
榮屋商店
電話三番

印刷工夫募集
小名浜町
長瀬印刷所

環境に恵まれた静閑な！

お電話ですぐお迎えに參ります
小瀧旅館
港區芝新橋一ノ七
電話(43)一〇三番
小名濱驛前
鷹推定
日本國有鐵道協社
日本交通公社

お祭のハキモノ……
豊富に取揃えました
是非專門の店へ
大菱商店
小名浜町中島　電話四一一番

花万生花店賣出半額斷行
小名浜本町通り『清世界』清水屋酒造店前にて營業いたし皆様に御不自由をかけて居ります櫻花の頃も過ぎ去り新緑の頃となりました
今回は花万生花店の
大サービス賣出し半額斷行
花　花　一枝、一本でも花を買うなら貴女の店…良い花を安く賣る店
御生花、盛花、投入、一輪、佛花　取揃えまして皆様の御來店を御待ちして居ります
是非
專門店
花万生花店
小名浜町上横町

発行所　宮城日日新聞社
小名浜町字浜通51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人　長瀬芳郎

小野直千賀氏らの隣人愛
横町に咲いた人情美談
逆境の籠虎一家に救の手

小名浜町横町一〇番地文子(一九)さんの父虎雄(五〇)さんは籠職であり妻ハル(四五)さんとの仲に六人の子供までありながらハルさんには男出入でとかくの風評がありそのため夫婦仲も思わしくなく家庭もいざこざが絶えないとのことであつたそのためか長男の大助(二五)さんは東京に家出し次男菊雄(二四)さんは神奈川縣に出稼に行き子供がありながら働き手を失い、ために家業の方は余り香ばしくなく家の中は風波が立つという有様であつた、ととろが去る三月の末ごろ母のハルさんは茨城縣の磯原に情夫と共に逃避行をなすという始末、これを知つた虎雄さんはしつとの余り後を追つてお定まりの刃傷沙汰に及びハルさんは入院、虎雄さんは水戸市郊外の市毛刑務所に殺人未遂容疑として収容されてしまつた、後に残された文子さん以下三人の子供達はこの両親の醜行に黙々として世間態を恥じ外出もひかえ目となり、中でも文子さんは去年の十一月より胸を患い療養中であつたが両親の事件がショックで病勢もつのつていつた、然し貧しい家庭の経済からして醫者に見て貰うことも出來ずに到々四月初旬床につく身となつてしまつた、次男の菊雄さんはこの事件を知つて歸宅したが自分の手ではどうにも處置がとれず、そのため横町の玉屋旅館門馬一氏に相談したとにより門馬氏はとの一家にいたく同情し區長小野直千賀氏(磐城座)に相談して富カ浦病院院長安田善一氏に往診を願つたところ仝氏は心よくこれを受託して無料で往診をしてくれたものである、また安田院長は早速平保健所小名浜分室に連絡したため、仝所では佐藤りツ(三三)保健婦を看護のため派出したが病状は思つたより進行しており入院しなければ手のほどこし様もなく早速平保健所を通じて豊間の回春院に入院の手續をとつたその後佐藤さんは毎日のように病床を見舞い実の親にも出來ない厚い看護をつくしてくれたが、時すでにおそく四月二十二日到々生命危篤におちいつてしまつた、そのため小野直千賀、門馬一の両氏は警察の證明を得て市毛刑務所に父虎雄さんの假出獄を懇請し、二十二日の夕方無事父娘対面をさせる事が出來たが翌二十三日早朝佐藤保健婦の三日三晩の看護の効もなく息を引き取つた、死の直前文代さんは佐藤保健婦さんを始め門馬、小野さんら外隣組の人々への感謝をはつきりしない口の中で、幾度も〳〵もつぶやき佐藤さんの瞼にも涙が人知れず光つていた「お父さんはもう刑務所へは行かなくてすむ様になりましたから安心して早く元氣になつて皆に安心させることですよ」と云う佐藤保健婦さんの言葉を夢の中にきゝながら静かに息を引き取つたという

この人情溢れる佐藤、門馬、小野、安田さんら及び隣組の人々の行いはとの汚れる社会に光明の道しるべを與えたものであり小名浜町役場に於ても此の文子さんの葬式に際し二千圓の香典を捧げ又月々幾ばくかの扶養料を與へる事になつたとのことである、父虎雄さんは明十日水戸に於いて公判にふされることになつており、本九日水戸へ歸るに当り小野氏らの温情に感謝して男泣きに泣いていた、又横町隣組では佐藤保健婦さんに感謝狀を贈ることになつているがこのことについて佐藤さんは次の様に語つた

私はただ與へられた自分の保健婦としての職責を果したまでに過ぎず皆さんにとんなに感謝されるとは心苦しい次第です、私も永年この職に奉仕して参りましたが、小名濱の横町隣組の皆さんのような理解のある人情豊かな處はありませんでした私もあの人々があつたればとそ一生懸命に奉仕する事も出來ました本當に横町の皆さんには感謝致しております又結核の予防検診にも進んで協力して戴いておりますので所長と共に感謝いたしております

湯本植田の祭禮
天候に恵まれ人出は三萬

湯本町温泉神社の温泉祭りは全町あげて、七 八の両日盛大に擧行した七日の前宵祭には湯本藝會の屋台三台が湯本の藝妓さんや竹松社中のお嬢さん方を乗せ、町内をねり歩き、子供の御とし、長持、稚児行列、などがあり、八日の本祭りは消防團おみこし、花車、水戸神樂を始め美妓連をのせた屋台が全町内をねり廻り参詣人と見物人で町は人の波を描き殊に各町内とも除側に竹、縮縄を張り巡らし又祭典に相應しい装飾を施し人目を引き夜は境内に素人演藝会立花訓子一座の余興などがあり天候に恵れた湯本温泉祭りはザツト三万の人出があり町は人の波でゴツタ返しの大盛況であつた

また植田町八幡神社春の祭禮も七、八日の二日行われたが本年は去る四月十日の町制施行三十周年記念祝典を全町擧げて行つたためか本祭りは例年のような盛況はみられなかつたが各戸に籐、つゝじ等の生花が飾られ八幡神社境内は多数の参詣人で大賑いを呈し青年会の御輿が町内を練り廻る等お祭氣分は全町に満ちあふれていた

小名濱高校 關西方面へ

縣立小名浜高等學校三年生は來る十三日午前二時出發關西方面へ四泊五日の予定で修學旅行を行う

労組の三役改選
水素選管で日程公表

小名浜町日本水素の選擧管理委員會では労働組合役員任期が五月一ぱいで満了になるため次の日程により選擧を行うことになつた

十日…正副組合長並に書記長の立候補 推薦を含む)
十二日…正副組合長、書記長候補者公示
十四、十五両日…選擧(〜午前六時三十分投票開始)
十六日…正午投票〆切直ちに開票
十七日…執行委員の立候補〆切(推薦を含む)
十八日…執行委員候補者公示
二十一、二十二日…全委員選擧(午前六時半投票開始)
二十三日…正午投票〆切直ちに開票

小名濱町に専門店會

小名浜専門店會協同組合創立總会は本九日午後一時より常陽銀行小名浜支店二階において次の議題の審議について開催される

一、議長選任の件
二、定款制定の件
三、役員選擧
四、昭和二十七年度事業計畫及收支予算書承認の件
五、借入金最高決定の件
其の他

鹿島、八幡の神輿渡御

本九日は鹿島村の鹿島、八幡の両神社例大祭に当り小名浜町まで御神輿の渡御が行われるが小名浜漁業協同組合では午前十一時頃神輿をお迎えして大漁祈念祭を行う

煙草の火から喧嘩
映画觀覧中ナイフでさす

七日午後三時頃、小名浜町映畫館金星座で映畫觀覧中の小名濱町中坪三十一番地漁夫立花光一さん(二十三)は隣にいた見知らぬ男から「タバコの火を借せ」といわれた事から喧嘩となり館内で格斗を演じ二寸位の折疊式普通ナイフで前顎部及後頭部に深さ骨膜に達する傷切及び左腹部を刺され全治三週間の傷害を受けた小名地區署では犯人捜査中のところ同夜八時頃仝町本町十四番地川村某(十九假名)を加害容疑者として檢擧すると共に兇器を押收した尚仝人は賣れた喧嘩でカツとなり暴行したと犯行を自供した

天氣予報 9

(本日)北西の風よい天氣です
(海上)おだやかですが明日晝頃から波立つて來る見込みです

魚菜市況 8

【小名濱中央青果市場】大根一五〜二五人參一〇〜二〇馬鈴薯二六〜七〇さつま五〇ごぼう二六〜五〇ほうれん草一把三〜四葉玉ねぎ一八〜二〇うど三五〜五〇たけのこ四六〜六五たくあん四〇〜八〇卵七、五〇〜八

【小名浜魚市場】いなだ二八〇〜二九〇ふぐ四〇すすき四〇〇〜六〇〇ます一七五〇

東カムチヤツカ 遭難の想い出

小名濱町 北尾政吉

大正十二年九月の關東地方大震災は廣く知られていますが、同年の春四月東カムチヤツカの火山爆發により大地震發生厚く結氷した海に大津波が起きたので、波と氷が被害を一層大きくし漁工場の越年者に多数の犠牲者が出ました、本文は三十年前の記憶を辿つて書いたものです

大正九年春、ニコライスク不祥事件發生以前にはカム河方面の冬期番人として工場地帯には二、三名の少数の者がおりましたが事件後は一工場に十名内外を残すとともになり私も其の一人に加わりましたそれらの經過や顛末は之を省略し、海嘯に遭つた十一年の冬期の概況を想起し、起述して見ましよう、大正十一年度と云うても翌年五月初航船の着期迄は勿論此の年に属するのですが、其の當時カム河方面は河を中心として東に二ケ工場が三菱系の會社で、常務として田中丸裕原氏及び共同経營者としてデンビー氏がいた冬營本部は東二靈里の舊デ工場附属の純露式建物内に置かれ、不尚私に田中丸常務から正式に冬期河東方面監督の委任狀が交附せられ、その條項、原文はデ氏と協議作製のもので、内容は微に入り細を穿ち実に至れり盡せりに指示した條文でした、當時同方面越年者の陣容は、二カ工場の日本人船頭以下十八名會社直營無線技師以下九名、醫務係一名、露人、經理部店倉庫係六名、支那人、コツクボーイ家畜係四名、以上は私の管理下に入り、其他カム河村漁村民及上流約五十粁邊位の沿岸漁民に對し二〇〇金留乃至五〇〇金留のクレジットを開設し(其當時紅鮭一尾二〇哥)その交附する通帳には私の承認署名を必要としました

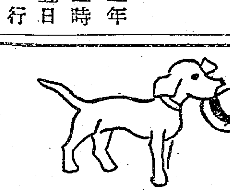
冬營僅か一カ月も經過せぬのに商品倉庫係の露人ミハイルは、神經衰弱?で深夜炊事場にピストル自殺を遂げたのを翌朝發見、主脳者官憲等數名立会で倉庫を封印の上、調書作成をするなどのことがありました

私に提供された事務兼居室は三間に六間の大部屋でスプリング付のWベットがあり、それに赤地純絹朱子の柔軟な布団が數かれ高さ四尺の金庫や、重役用の舶来高級各種洋酒等が二十余箱も片隅に積まれ、ホテル式洋風ペチカの上には剝製の鳥が二羽置かれてある豪華さ

私はそれを背景に記念の寫眞を撮りました

――續――

経費をかけずに良い品安く



白生地大暴落
少しづつ高くなりそうです
最安値品がまだあります
今が御買徳の時です
ヤール 50円より

旅行にボストンと手提
600圓位より各種

化粧品
ジユジユクリーム85円
柳屋ポマード 85円

學童用洋傘 大人洋傘
三馬長靴大人850円
學童用長靴 350円より
男女雨靴 650円より
布靴 白 黒 紺各種
丈夫だから賣れる
民族印地下足袋 330圓

小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

春より初夏への衣料品
御祭の装ひは和服姿に
着尺地…帯地…澤山入荷しました
品質本位・いつも新柄を取揃えたる店
(H) 樋口呉服店
小名浜町橋本 電話304番

"目に青葉"
"カメラを肩に野に山へ!!"
カメラと寫眞用品豊富に揃えて有ります
現像・焼付・引伸は優秀な設備と技術を誇る弊店へ!!
伊勢丹カメラ店
小名浜町古港三 電話四〇四番
寫眞用額縁あります

新型在庫豊富
最新式パチンコ機械
ひばり号販賣
新規開店懇切指導
營業所 石城郡湯本町三函 カホルパチンコホール 電話三七五番
事務所 新津市普通一四一 電二九六番
石井薫司